

令和4年度 研究研修事業報告

1 教職員研修及び研究事業運営の基本方針

○目指す教師像を「情熱と使命感、児童生徒理解に基づいた確かな授業力と経営力を身に付けた教師」とし、計画的な教職員の人材育成を目指す研修、研究を行う。

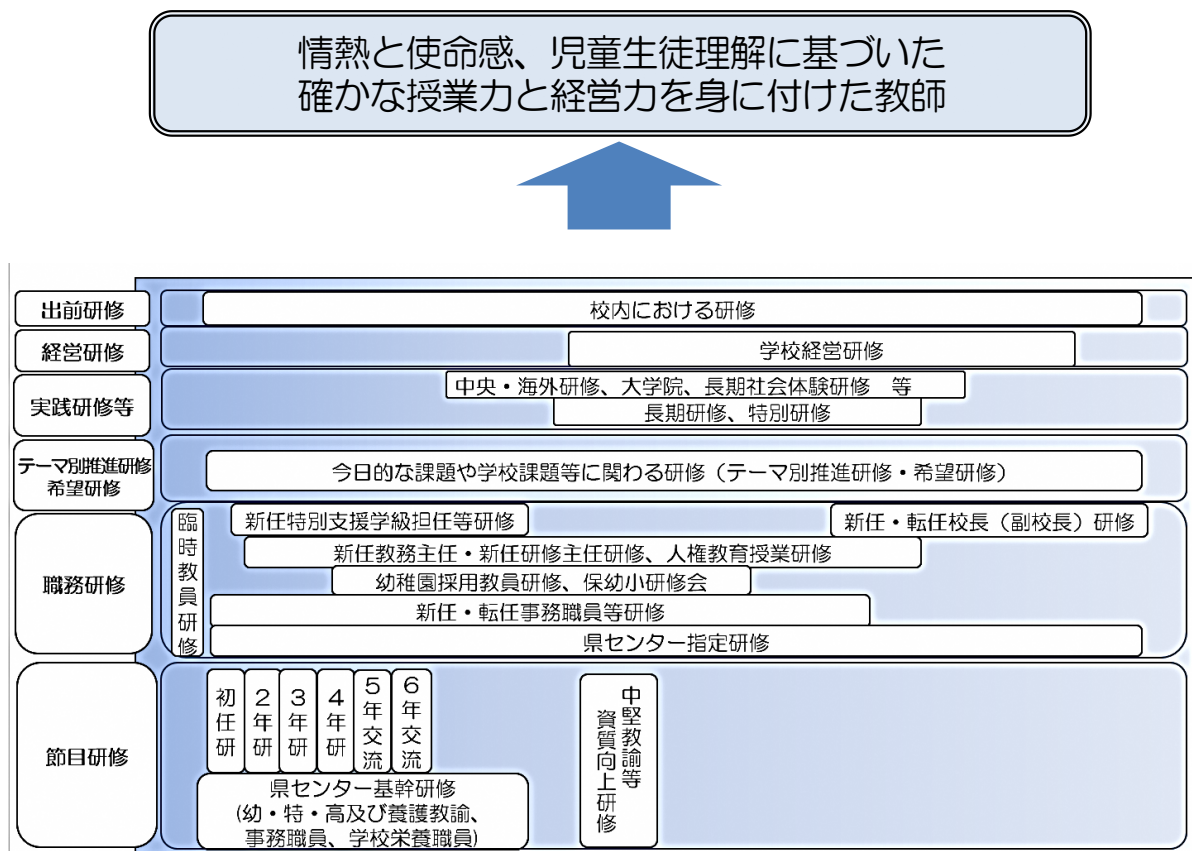
○市教委内の各課・係や国、県、大学の教育機関、大学等と連携し、それぞれが有する教育資源を活用しながら、事業の円滑かつ効果的な運営を行う。

2 教職員研修に関すること

(1) 基本的な考え方

学校文化の創造を支える「情熱と使命感、児童生徒理解に基づいた確かな授業力と経営力を身に付けた教師」の育成を目指し、実践的な指導力の向上を図るため、一人一人の経験や職務等の教職員のキャリア段階に応じた研修を実施する。

また、研修参加者の振り返りやアンケート、市教委内の各係からの情報を基に、参加者の立場や時期等に応じた研修内容の精選と参加形態の工夫を通して、研修の更なる充実を図る。



教職員のライフステージに応じた教職員研修

(2) 具体的な研修講座の設定

グループ	研修区分	研修名	実施回数 (参加人数)	令和4年度の取組 及び公開講座講師等
指定 研修	節目研修	○小・中学校 初任者研修 ○小・中学校 2年経験者研修 ○小・中学校 3年経験者研修 ○小・中学校 4年経験者研修 ○小・中学校 5年経験者交流会 ○小・中学校 6年経験者交流会 ○中堅教諭等資質向上研修	14回 (504人) 4回 (157人) 5回 (199人) 4回 (139人) 2回 (50人) 2回 (52人) 9回 (387人)	・初任者研修では、全ての初任者の勤務校に訪問した。 ・中堅教諭等資質向上研修では、第5回(小・中学校教科別授業研究会への参加)を中止とした。
	職務研修	○新任・転任校長(副校長)研修 ○新任教務主任研修 ○新任研修主任研修 ○新任・転任事務職員等研修 ○人権教育授業研修 ○臨時教員研修	1回 (15人) 2回 (30人) 3回 (57人) 2回 (35人) 1回 (95人) 1回 (14人)	・人権教育授業研修では、元総社中学校の資料を活用し、人権教育主任が各校・園において自己研修を行った。
	経営研修	○学校経営研修Ⅰ ○学校経営研修Ⅱ	1回 (50人) 1回 (71人)	
	テーマ別 推進研修	○外国語授業力向上研修 ○小学校プログラミング教育に関する研修 ○ICT授業づくり研修 ○中学校「考え、議論する道徳」の 授業づくり研修 ○人権教育研修 ○教育相談研修	1回 (47人) 1回 (46人) 2回 (136人) 1回 (21人) 1回 (71人) 7回 (544人)	
	研究成果 発表会	○前橋長期研修・前橋特別研修 研究成果発表会	1回 (133人)	・オンラインでの開催
希望 研修	希望研修	○新任特別支援学級担任研修 ○臨時教員研修(希望) ○臨時教員のための 授業づくりリモート講座 ○つながるICTひろば ○ひろがる道徳ひろば	1回 (28人) 21回 (1人) 2回 (2人) 5回 (15人) 2回 (6人)	
	公開講座	○教材分析から進める道徳科の授業改善の実際 ○知っておきたい いじめ問題最新動向 ○通常学級における特別支援教育 ○学び合う授業研究の在り方	1回 (39人) 1回 (45人) 1回 (66人) 1回 (29人)	群馬大学 久保 信行 客員教授 群馬大学 吉田 浩之 副センター長 明星大学 小貫 悟 教授 慶応義塾大学 佐久間亜紀 教授

		○授業に生きる評価 ～指導と評価の一体化～ ○1人1台端末の活用充実期における 授業実践について ○主体性を育む学級活動の授業づくり ○小・中学校の連携を踏まえた 学習指導と評価（外国語） ○協働的な学びにおける ICT 活用 ○一歩先の授業づくり～全国学力・学習状況 調査から考える授業改善（算数・数学）～ ○キャリア教育の理解と推進 ○一歩先の授業づくり～全国学力・学習状況 調査から考える授業改善（国語）～ ○主体的・対話的で深い学びを実現する 指導の工夫	1回（63人） 1回（94人） 1回（55人） 1回（63人） 1回（86人） 1回（77人） 1回（48人） 1回（61人） 1回（51人）	総合初等教育研究所 北 俊夫 参与 信州大学 佐藤 和紀 准教授 文部科学省 安部 恭子 視学官 国立教育政策研究所 入之内昌徳 教育課程調査官 放送大学 中川 一史 教授 国立教育政策研究所 伊吹 竜二 学力調査官 国立教育政策研究所 長田 徹 総括研究官 国立教育政策研究所 渡辺 誠 学力調査官 明治学院大学 中村 敦雄 教授
	出前研修	○授業づくりサポート ○研修運営サポート (生活科・総合的な学習・外国語・道徳・ 特別活動・人権・授業改善等)	11回（254人）	・校内研修のテーマに沿った授業づくりや研修運営サポートに関わる講義や演習、個別の相談を実施した。

〔成果〕

- 各研修において、県の育成指標を基に、キャリア段階に応じて求められる資質・能力や、職務に応じて求められる能力の育成に向け、講義だけでなく演習やグループ協議、報告会等の内容を工夫しながら実施することができた。研修内容についての振り返りでは、「すぐに役立つ」「長い目で見て役立つ」の両方の項目について4段階中の4と回答した受講者は85%であった。
- ICT活用や性の多様性、スクールロイヤー、日本語指導など、多様化する課題に応じた内容を取り入れることができた。また、公開講座では、外部から講師を招聘し、より専門的な立場から具体的な指導方法についての講義や先進的な取組みの事例紹介等を行うことができた。
- 各研修講座内容の確認や申込手続きをしやすいよう、研修講座案内の形式や申込方法を改良した。また、集合研修やオンライン研修などの開催方法の工夫や、Google フォームでの研修の振り返り、Google クラウドスループームを活用した資料の配付や提出等を行い、参加する先生方の負担軽減を図ることができた。

〔課題〕

- 各研修講座において、今日的な課題に対応したり、学校での実践につなげたりできるような研修内容になるよう、引き続き必要な支援や方策等を探っていく必要がある。

3 教育研究員に関すること

(1) 前橋長期研修

研究領域	研究主題	研究員
小 学 校 算 数 科	数学的な見方・考え方を働かせながら、 問題解決の過程や結果を振り返る児童の育成	前橋市立城東小学校 長 田 道 久 教諭
小 学 校 国 語 科	国語科「書くこと」において、自分の考えを 相手に伝わるように表現できる児童の育成	前橋市立東小学校 井 上 若 菜 教諭
中 学 校 教育の情報化	自らの学びを蓄積し活用する力の育成	前橋市立東中学校 宮 崎 智 嗣 教諭

〈研究に関わる主な日程〉

〈学校経営に関する主な講義・演習〉

月 日	日 程	内 容
4 月 1 日	研究員命令書交付	〔課題研修〕 ・まえばし学校教育充実指針の項目を中心とし、教育活動の概要を経営的に捉える。 〔事例研修〕 ・学校危機管理など事例を基に、経営的視点から考える。 〔伝える研修〕 ・校内分掌事項について、経営的視点から再構想し、実践を視野に入れた提案内容を考える。 〔深める研修〕 ・研修内容から自己課題を選択し、学校における実施計画を作成する。 〔プラス研修〕 ・プラザ館内の業務内容について聴き取りを行う。
5 月 31 日	主題検討会	
7 月 19 日	実践検討会Ⅰ	
8 月 29 日	実践検討会Ⅱ	
9 月～	各置籍校での実践	
12 月		
12 月 16 日	執筆検討会①	
12 月 27 日	執筆検討会②	
1 月 10 日	草案検討会	
2 月 9 日	推進研修	
	*研究成果発表会による研究報告	
3 月 31 日	研修修了	

〔成果〕

- 実践研究では、本市の教育課題と自己の課題に基づき、年間を通して研究に専念することができた。算数科では、「『発問の設定』と『情報カード』の活用を通して、見方・考え方を働かせながら問題解決の過程や結果を振り返る児童を育成すること」、国語科では、「三つのピア活動の設定と書き表し方の工夫について児童と共に考える活動を通して、自分の考えを相手に伝わるように表現できる児童を育成すること」、教育の情報化では、「学びの記録『ポイカ』を用いた支援を通して、自らの学びを蓄積し活用する力を育成すること」について研究を行った。それぞれの研究について、オンラインで各校に配信し、長期研修研究員の研究の成果を市内に広く発信することができた。
- 経営研修では、今日的な教育課題やまえばし学校教育充実指針等を題材とし、課題の的確な把握、情報の収集、実施計画の立案、提案などについて、実効性のある研修を実施することができた。また、特別研修研究員との合同研修の中で、コーディネーターとしての役割を果たしながら学びを深めることができた。
- 群馬大学大学院の教授、准教授から研究の方向性や検証の方法等について直接指導をいただき、多くの学びを得ることができた。また、高崎市長期研修との合同研修が充実し、研究員同士でお互いに刺激を受けながら自身の研究についてより深く学ぶことができた。

〔課題〕

- 研究員が多くの経験を積みながら研究や研修に取り組めるよう、年間を通した体制づくりに努めた。検討会の具体的な日程調整や、実践授業に向けた置籍校や他機関との連携をさらに充実させていく必要がある。

(2) 前橋特別研修

研究領域	研究主題	研究員
小学校 外国語活動	外国語活動において、見通しをもって 楽しくコミュニケーションを図る児童の育成	前橋市立桂萱東小学校 三輪美鈴 教諭
小学校 生徒指導	メディアに関する児童の自己指導能力の 獲得を支える生徒指導の充実	前橋市立桃川小学校 加藤織乃 教諭
小学校 教育の情報化	ICTの活用を通して、考えを広げ深める児童の育成	前橋市立駒形小学校 木村拓真 教諭
小学校 算数科	算数科において既習事項を活用し、 見通しをもって問題解決する児童の育成	前橋市立大胡小学校 小島和樹 教諭
中学校 社会科	中学社会科地理分野において、身に付けた知識を 自分事として捉えて表現できる生徒の育成	前橋市立みずき中学校 奥村太威 教諭

〈研究に関わる主な日程〉		〈学校経営に関する主な講義・演習〉
月 日	日 程	内 容
4 月 14 日	入所式、オリエンテーション	・学校組織を活かす中堅教員の役割 ・学校組織マネジメント ・1 人 1 台端末で情報活用能力を育む授業実践について ・事例研修（長期研修研究員との合同研修） ・特別支援教育について ・学校づくりと学校評価 ・いじめ防止と自殺予防に関する理解 ・キャリア教育の在り方
6 月 16 日	主題検討会	
5 月～6 月	授業研究Ⅰ＊所属校での実践	
8 月 25 日	実践検討会	
9 月 29 日	授業研究Ⅱ＊所属校での実践 （研究授業、授業研究会）	
10 月 6 日		
10 月 13 日		
12 月 1 日	研究員協議	
12 月 26 日	草案検討会	
2 月 9 日	推進研修	
	＊研究成果発表会による研究報告	
3 月 2 日	修了式	

〔成果〕

- 研究員の課題を基に学校と連携しながら研究を進め、より実践的な教育研究とすることができた。
- 研究員同士の演習・協議を行うことにより、研究員相互の充実した意見交換につながり、研究が深まった。また、他の研究員の研究内容に触れたり、学校経営に関する演習を行ったりする中で、教員としての視野を広げることができた。
- 研究成果発表会では、オンラインで各校に配信するとともに、研究の概要や発表動画をまえばしGIGAサポートサイトに掲載し、当日参加できなかった教員が閲覧したり、校内研修の資料として活用したりできるようにし、研究員の研究の成果を幅広く伝えることができた。

〔課題〕

- 学校課題を反映した研修を実施するために、学校現場の声を取り入れながら、学校と連携した研修の在り方を探っていく必要がある。
- 人材育成等の視点から、研修内容をさらに充実させたり、研修方法を工夫したりする必要がある。

4 その他の業務に関すること

(1) 人権教育事業に関すること

- ・小・中学校 6 年経験者交流会（6/10）講義「学校における性の多様性と人権」
講師 一般社団法人ハレルワ 間々田 久渚 代表
- ・中堅教諭等資質向上研修（8/19）講義「差別の現実から学ぶ」
講師 生涯学習課 社会教育係 指導主事
- ・人権教育研修（9/2）講義「人権に関する重要課題の取組」
講師 総合教育プラザ 教育研修センター 指導主事
- ・初任者研修（10/18）講義「学校における人権教育の実際」
講師 総合教育プラザ 教育研修センター 指導主事
- ・人権教育授業研修（11/30）
社会科 「北アメリカ州」 指導者 元総社中学校 野口 翔平 教諭
特別の教科 道徳「いじめへの公正な態度」指導者 元総社中学校 高石 隼人 教諭
- ・人権教育推進状況調査 1 月下旬実施

〔成果〕

- 初任者研修を始めとする節目研修において、いじめ・児童虐待など子供に関すること、同和問題、性的マイノリティといった人権重要課題に関わる講義を実施した。人権教育研修では、「教職員の人権感覚チェックリスト」を活用して参加者に振り返ってもらうとともに、チェックリストに取り組んだ感想を参加者同士で交流する場面を設けた。その結果、「人権重要課題への理解が深まり、教育活動に生かしていきたい」「自校でも人権感覚チェックリストに取り組みたい」といった、実践につなげていこうとする意欲的な感想が多く寄せられた。
- 人権教育授業研修では、元総社中学校において、縮小開催による社会科及び道徳科の公開授業を行った。研究授業の概要と元総社中学校の人権教育の取組等について、資料にまとめたものを送付し、各校・園の人権教育主任の先生方に自己研修を実施していただいた。紙面発表への感想として「どの学年・教科においても人権学習に関わる題材を設定し、感性、知性、技能、判断力、実践力を向上させる取組がなされていて参考になった」と各校・園の取組に参考にしようとする感想が多く寄せられた。
- 各校・園での人権学習の充実を図るために、毎月の校長会議において、人権教育教材（DVD）の情報提供を行った。

〔課題〕

- 令和 2 年度から 3 年間、人権教育授業研修を集合研修の形で実施できていない。そのため、人権教育の視点を大切にした授業づくりや教師の関わりについて、人権教育主任の先生方が、実際に授業を参観し協議したり、各校・園の取組を共有したりしたことを、各学校・幼稚園で広めていただくような機会も必要であると感じる。

(2) 学校評価事業に関すること

- 研修の実施 ◇学校評価システム運用に係る実務研修（6/9、6/15、11/25）
◇新任教務主任研修（8/24）「学校運営への学校評価の活かし方」
◇特別研修（11/24）「学校づくりと学校評価」

〔成果〕

- 学校評価システム運用に関する動画資料や各種資料を Google ドライブ上に掲載し、各学校の学校評価担当が自由に扱える環境を整えることができた。

○今年度は、Google フォームによるアンケート形式の実施2年目を迎えたことから、学校の要望に応じて独自項目の設定も行った。独自項目を設定した学校は6校あり、実務研修等で個別に支援を行うことで、滞りなく運用を行うことができた。

〔課題〕

○各学校が前年度の学校評価結果を基に設定した重点項目を意識して組織的・継続的に学校運営の改善を図ることができるよう、継続して研修等の機会での周知を図る必要がある。

令和3年度 学校評価アンケートの結果について

総合教育プラザ 教育研修センター

令和3年度の各小中学校の学校評価アンケートの結果を集計し、本市全体の傾向をまとめました。アンケートは、「まえばし学校教育充実指針」の共通項目（32項目）に対応しています。

【令和3年度 教職員、保護者ニーズ度、児童・生徒実現度 共通項目 結果一覧】

柱	重点項目	番号	評価項目 (各項目は充実指針の各内容と対応)	小学校			中学校		
				教職員	保護者	児童	教職員	保護者	生徒
				ニーズ度		実現度	ニーズ度		実現度
1 学校力を高める 学校経営	【1】一人一人がチームの一員として参画する学校づくり	1	充実指針を生かした学校課題の解決に向けた取組	17.1			18		
		2	実効性の高い学校評価と学校の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントの実践	17.4	16.5		17.7	16.8	
		3	学校課題の解決に向けたチーム学校としての指導体制の構築と取組の推進	16.8			18.1		
	【2】学校間の連携と家庭・地域の教育力を生かした学校づくり	4	保幼小中のつながりを大切にした教育活動の推進	19.5			21.6		
		5	保護者や地域住民との協働による学校運営の仕組みづくりの推進	17.7	16.1		19.2	16.8	
		6	PTA や地域の組織を生かした教育活動の推進	17.4	14.9		17.7	15.8	
		7	地域行事への参加や交流活動の推進	20.9	16.3	4.7	22.4	17.3	4.1
	【3】ニーズに応じた校内体制づくりの工夫	8	一人一人を大切にした特別支援教育の充実	16.1	19.8		16.8	20.2	
		9	組織的な生徒指導の充実	17	20.8	6.1	17	22.1	5.7
	【4】教職員の資質・能力の向上	10	実践的な指導力・経営力を高める校外の研修機会の活用	19.1			19.5		
		11	指導力の向上を目指した校内の研修の充実	15.5			16.4		
		12	学年学級経営案・教科経営案・自己申告書等を生かした自己研修の推進	16.8			17.4		
	【5】安全・安心な学校づくりの徹底	13	学校の安全管理・環境衛生管理体制の充実	15.2	17.2		15.2	18.2	
		14	関係諸機関と連携した危機管理体制の充実	16.6	15.6	6.3	16.3	17.3	5.9
2 魅力あふれる 教育活動	【6】学び続ける力の育成	15	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の推進	18.9	18.3	5.4	19.5	18.6	5.2
		16	学びの質を高めるICT活用の推進	17.4	16.8	6	17.1	18	5.7
		17	体験活動を重視した学習の推進	20.2	17.9	5.9	21.4	19.2	5.8
		18	基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る学習の工夫	17.7	17.6	5.8	17.4	19.2	5.3
		19	学校図書館を計画的に活用した授業の推進	16.5	15.9	5.5	21.5	19.8	3.4
		20	コミュニケーションを図る楽しさを大切にする外国語教育の充実	15.9	20.2	5.6			
	【7】豊かな人間性の育成	21	生き方の自覚を深める道德教育の推進	17.6	17.6	5.8	16.7	18.6	5.8
		22	自他の大切さを認め合える人権教育の推進	17.2	18.6	6.2	17.6	19.2	6.1
		23	あたたかな人間関係を築く体験活動の充実	19.5	19.2	6.5	19.5	19.8	6.1
		24	自然を愛し、自然を守る心を育む教育の推進	18.9	17.4	5.7	20.1	18.9	5.1
		25	地域の偉人や歴史、自然や文化に触れ、郷土について学ぶ教育活動の推進	18.6	16.5		21.3	17.8	
		26	集団や社会の一員としての自覚をもち、規範意識を高める指導の充実	18.2	17.7	5.8	17.8	18.3	5.8
	【8】健康増進・体力の向上	27	運動好きな子供を育て、体力向上を図る取組の推進	17.6	17.1	5.8	16.7	16.8	5.4
		28	基本的な生活習慣を身に付け、自分の健康を管理する能力の育成	19.1	17.6	5.3	18.8	18.6	5
		29	食に関心をもち、健康な生活を実現する態度の育成	19.2	17.3	5.1	19.8	17.6	5.3
	【9】自立性・社会性の育成	30	自立性や社会性を育てるキャリア教育の推進	19.5	20.2	5.5	18.6	20.8	5.1
		31	自治的な能力を高める学級活動、児童会・生徒会活動の推進	18.6	16.5	5.3	18.6	16.8	4.9
		32	自己の役割を自覚し、最後までやり抜く態度を育てる活動の推進	18.2	17.6	6.3	18.5	17.9	6.1
			平均	17.9	17.6	5.7	18.5	18.4	5.4

※ 網掛 は、20以上の数値

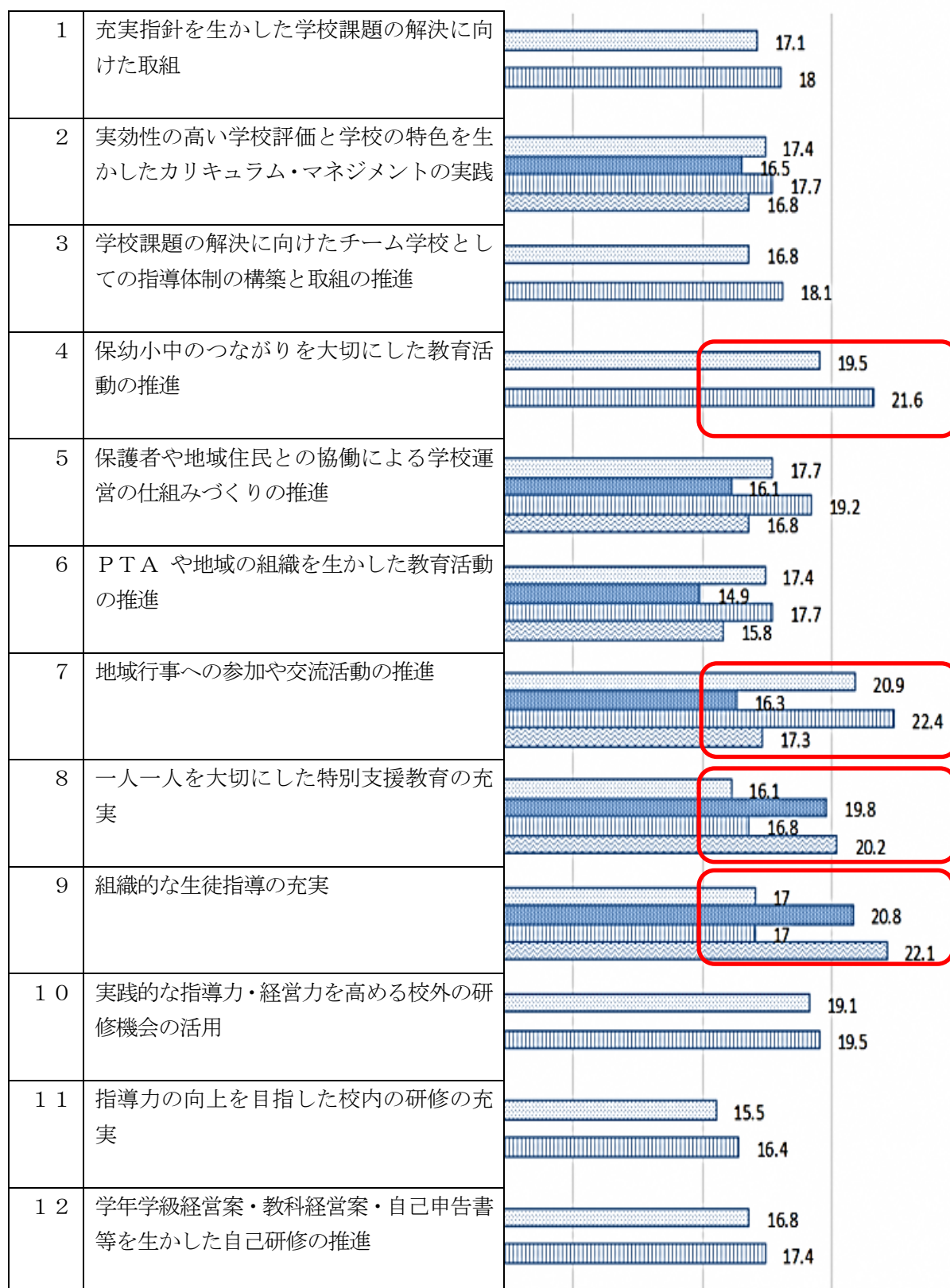
※ニーズ度 = 重要度 × (8－実現度) 【重要度と実現度の4段階の回答に対して「7, 5, 3, 1」の得点を配分し、それぞれの平均値を算出し、計算式に適用する】→数値が高いほど、ニーズが高い。

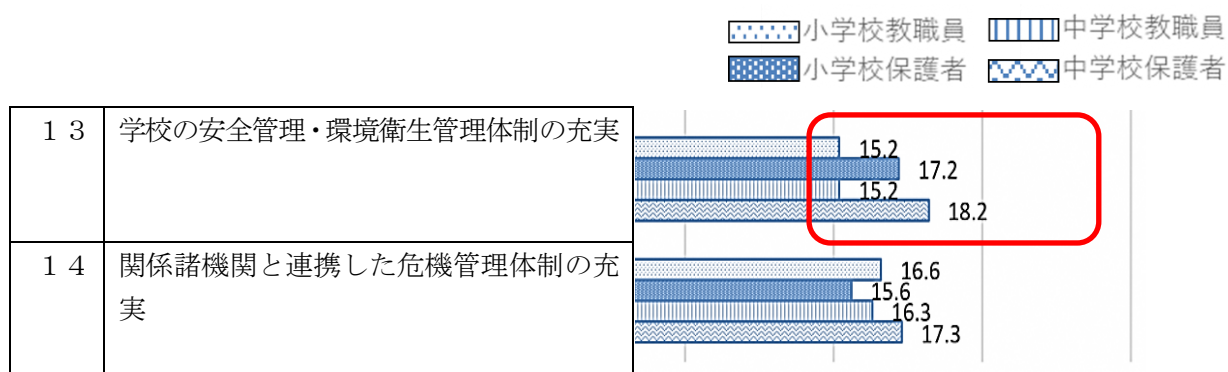
柱別の結果について

小学校教職員
 中学校教職員
 小学校保護者
 中学校保護者

【柱 1 学校力を高める学校経営】

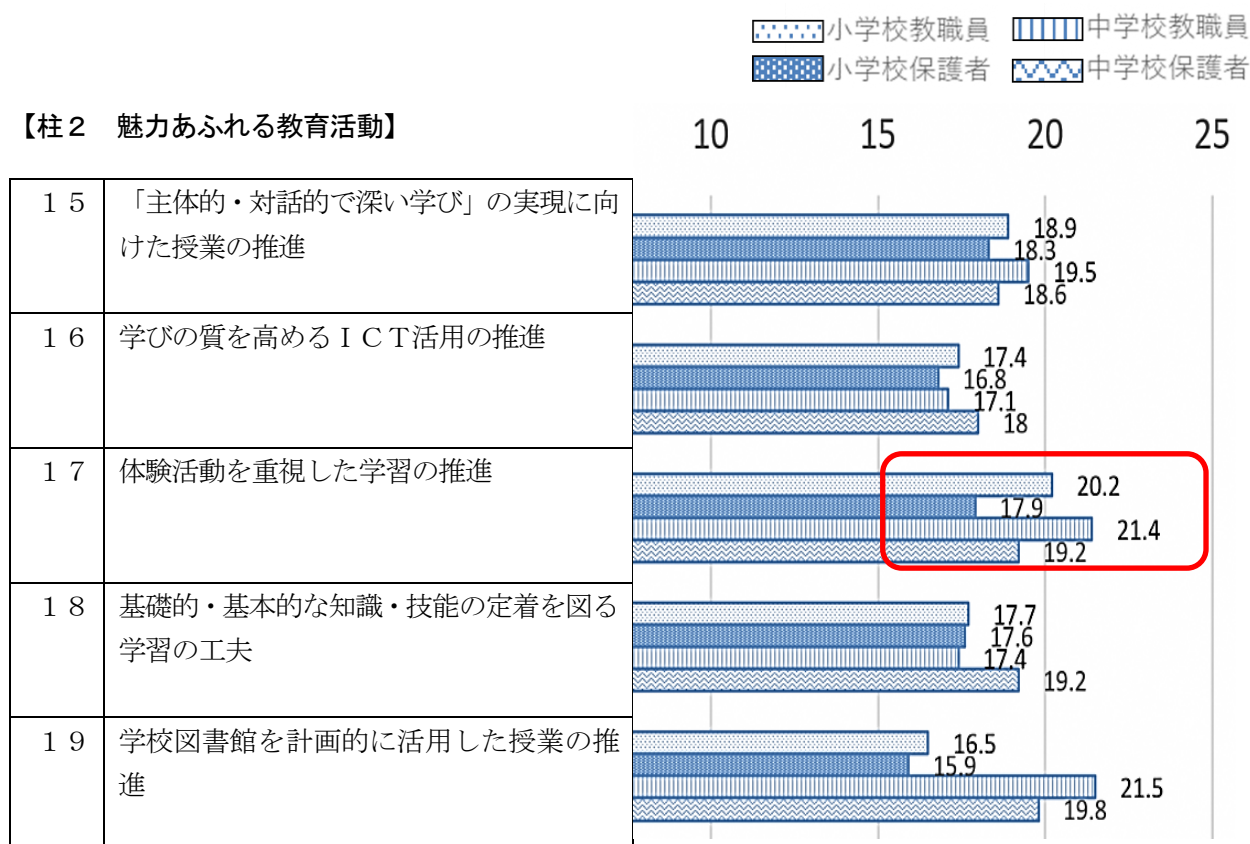
10 15 20 25

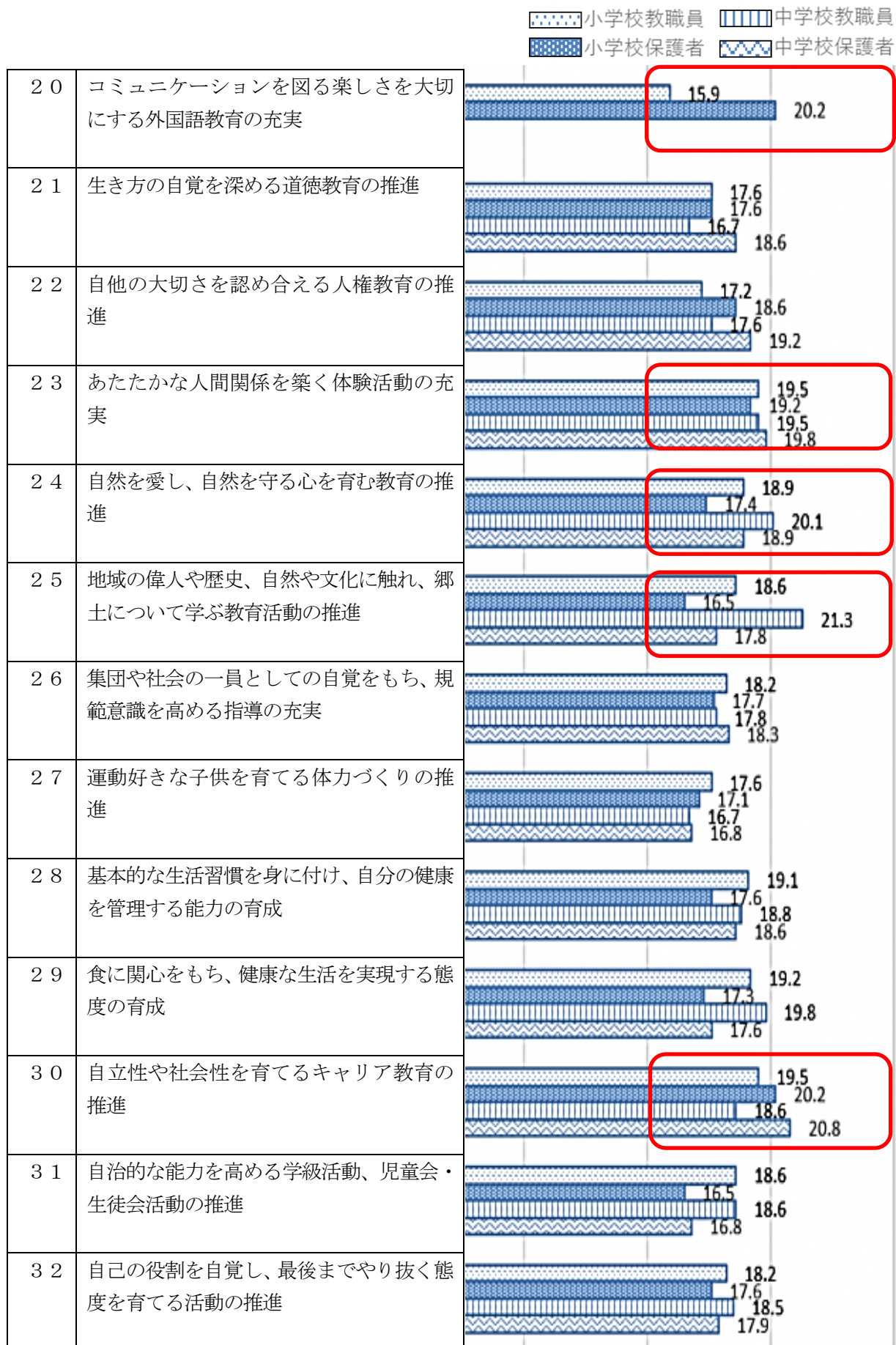




【柱 1 についての結果】

- 小学校教職員、保護者ともにニーズ度は20ポイント以下の評価項目が多く、全体的に低い傾向にある。
- 評価項目4「保幼小中のつながりを大切にした教育活動の推進」については、前年度に引き続き小・中学校ともに教職員のニーズ度が高い傾向にある。
- 評価項目7「地域行事への参加や交流活動の推進」については、小中学校ともに教職員のニーズ度は高い傾向にあるが、保護者のニーズ度は低い傾向にあり、両者の差には、4ポイント以上の開きが見られる。また、児童、生徒ともに実現度が低い傾向にある。
- 評価項目8「一人一人を大切にした特別支援教育の充実」、評価項目9「組織的な生徒指導の充実」及び評価項目13「学校の安全管理・環境衛生管理体制の充実」については、前年度に引き続き、小中学校ともに保護者のニーズ度が教職員のニーズ度を上回っている。





【柱2についての結果】

- 評価項目17「体験活動を重視した学習の推進」については、小中学校ともに教職員のニーズ度が高い傾向にある。
- 評価項目20「コミュニケーションを図る楽しさを大切にする外国語教育の充実(小学校のみ回答)」については、教職員のニーズ度より保護者のニーズ度が高く、4ポイント以上の開きが見られる。
- 評価項目23「あたたかな人間関係を築く体験活動の充実」については、小中学校いずれも教職員のニーズ度と保護者のニーズ度に大きな差がなくともに高い傾向にある。
- 評価項目24「自然を愛し、自然を守る心を育む教育の推進」、評価項目25「地域の偉人や歴史、自然や文化に触れ、郷土について学ぶ教育活動の推進」については、中学校の教職員のニーズ度が高い傾向にある。
- 評価項目30「自立性や社会性を育てるキャリア教育の推進」については、小中学校ともに保護者のニーズ度が高い傾向にある。

(3) 研究や授業に関わる学習指導案の収集・整理

令和4年度に前橋長期研修、前橋特別研修で実践した学習指導案について収集し、校種別に整理した。

〔成果〕

- 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に取り組んでいる実践の学習指導案を収集し、C4thの書庫にアップロードすることで情報の共有を図った。

〔課題〕

- 収集した学習指導案を校内研修や研究の資料として活用できるよう、各種研修会で紹介するなど、さらなる周知を図る必要がある。

(4) 教育研究所連盟関係事業

【群馬県教育研究所連盟に関すること】

- ・令和4年度 春季研修会 5/25 オンライン開催
- ・令和4年度 冬季研修会 1/18 オンライン開催
- ・令和4年度 デジタル連盟双書 原稿執筆

○執筆者 前橋市立桂萱東小学校 内村 央絵 教諭

主 題 「情報活用の実践力」を育成する取組

○執筆者 前橋市立荒牧小学校 赤石 貴郎 教諭

主 題 国語科において、児童の主体的な学びを実現する授業改善

○執筆者 前橋市立時沢小学校 倉林 雅子 教諭

主 題 算数科「データの活用」領域における、批判的に考察する児童の育成